

平成28年度和歌山県農地中間管理機構活動方針

4 推進体制

1 主旨

担い手の減少と高齢化に伴う遊休農地の増加が課題となっており、その解消と優良農地の担い手への利用集積に向けた農地中間管理機構の役割はますます重要となっている。こうした中、当機構が取り組む農地中間管理事業については3年目を迎えることから、これまでの取り組みを踏まえ昨年度を超える実績が上がるよう活動を展開することが重要である。そのため、平成26年度の県新政策で各農業協同組合の単位で設置された「農地活用協議会」を中心に農業協同組合、市町、農業委員会、県等の関係機関が連携を密にし活動を行う。また、農地の受け皿づくりとして、これまでの1戸1法人から組織法人を育成する活動を進めていく。

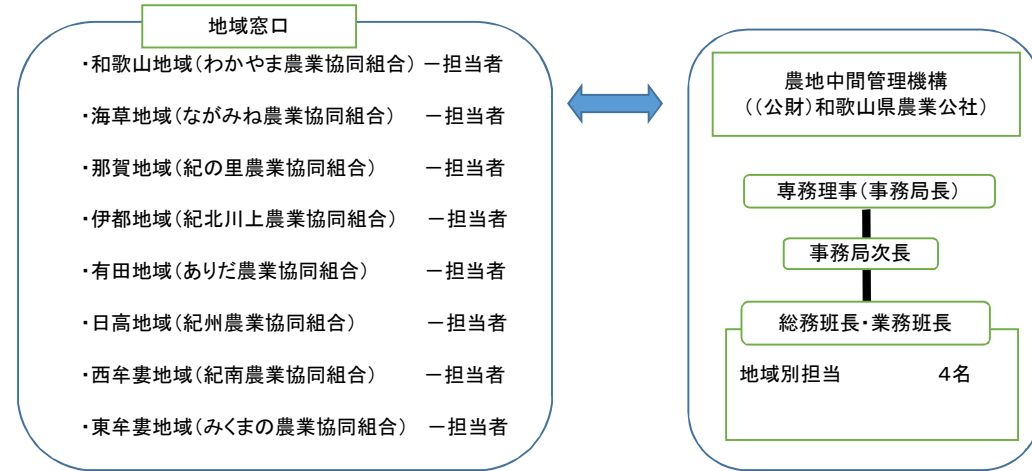
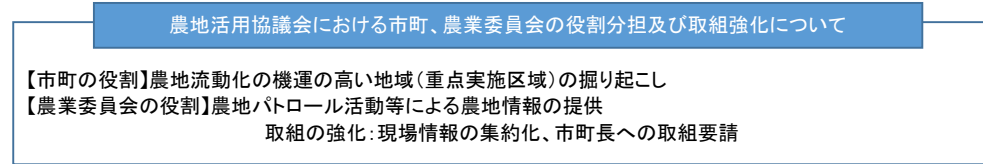
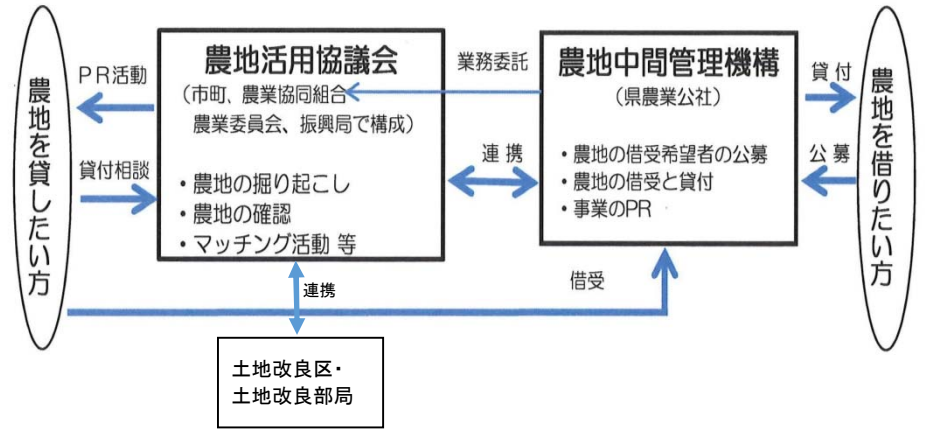
2 主な課題

- (1) 優良な農地の情報が集まらない
- (2) 農地中間管理事業のメリットなどがうまく伝わっていない。
- (3) 関係機関の取り組みに濃淡が見える
- (4) 圃地管理に関する苦情等の対応が増える

3 取り組みポイント

- (1) 農地の掘り起こし活動促進
 - ア 良い条件の農地を掘り起こすため、各協議会が主体となって開催する農地貸借相談会の活動支援(市町単位から地区単位で)
 - イ 農地の貸し出しに、より関心を持たせるための啓発資料の作成・配布
- (2) 農地中間管理事業のメリット周知
 - ア 公的機関を介することによる安心感、手間のかからない手続きなど利点の周知
 - イ 優良な事例などを用いた効果的なPR
 - ウ 新たなメリット措置(改植事業や固定資産税の軽減等)のPR
- (3) 関係機関の連携推進
 - ア 市町・農業委員会・農協を対象に定期的な取り組み内容の報告(活用協議会等における経過報告)
 - イ 地域ぐるみの取り組み(重点区域・強化推進地区)の推進(市町・土地改良区など)
 - ウ 他関係団体との意見交換会(県農業法人協会、県農業士会など)
- (4) 事務体制の改善

全国農地ナビを有効活用することで、業務の効率化とセキュリティ向上



	所在地	TEL
(公財)和歌山県農業公社	和歌山市茶屋ノ丁2-1	073-432-6115
わかやま農業協同組合	和歌山市栗栖642	073-473-9402
ながみね農業協同組合	海南市大野中718-1	073-483-0945
紀の里農業協同組合	紀の川市打田1414	0736-77-0810
紀北川上農業協同組合	橋本市高野口町名古屋925-1	0736-43-2555
ありだ農業協同組合	有田郡有田川町天満47-1	0737-53-2323
紀州農業協同組合	日高郡みなべ町気佐藤321-6	0739-72-3955
紀南農業協同組合	田辺市高雄三丁目22番19号	0739-25-5720
みくまの農業協同組合	東牟婁郡那智勝浦町朝日2-249	0735-52-1177

5 各地域における問題とその対策について

	問 題			対 策		
	果 樹	野菜・花き	水 稻	果 樹	野菜・花き	水 稻
紀北 (紀ノ川流域)	【みかん】古木・古い品種・急傾斜といった条件の悪い園地の相談が多い。 【柿】急傾斜地が多く、富有柿の価格低迷のため借受希望者が少ない。 【桃】桃の価格が安定しているため、平地を中心に農地の需要は多い。(農地が不足気味)	新規参入者を含め農地の借受希望者が多い。しかし、農業用水の確保等により、農地や地域が限定される。	米価低迷のため、米作を行うための借受希望者は少ない。	【みかん】傾斜地の改善と新品種導入といった園地条件改善への誘導。 【柿】担い手に対して、富有柿から改植が可能な園地への誘導と、急傾斜地園地の条件整備。 【桃】田畑から桃への植栽が可能な園地への誘導	農業用水が確保できる園地の貸借と、用水確保に向けた条件整備。	農地の出し手に対して、野菜作を希望する者への貸し出しの誘導。
紀中 (有田・日高地方)	【みかん】古木・古い品種・急傾斜といった条件の悪い園地の相談が多い。 【梅】急傾斜地、老木園といった条件の悪い園地が多く、中には廃園の動きが見られる。	新規参入者を含め農地の借受希望者が多い。しかし、農業用水の確保等により、農地や地域が限定される。	米価低迷のため、米作を行うための借受希望者は少ない。	【みかん】傾斜地の改善と新品種導入といった園地条件改善への誘導。 【梅】老木園では、改植が可能な園地への誘導、並びに急傾斜地園地においては耕作条件の整備を図る。	農業用水が確保できる園地の貸借と、用水確保に向けた条件整備。	農地の出し手に対して、野菜作を希望する者への貸し出しの誘導。
紀南 (西牟婁・東牟婁地方)	【みかん】古木・古い品種・急傾斜といった条件の悪い園地の相談が多い。 【梅】急傾斜地、老木園が多く、中には廃園の動きが見られる。	新規参入者を含め農地の借受希望者が多い。しかし、農業用水の確保等により、農地や地域が限定される。	売り先を確保し、借受を増やす一部の農家を除いては、米価低迷のため米作を行うための借受希望者は少ない。	【みかん】傾斜地の改善と新品種導入と言った園地条件改善への誘導。 【梅】老木園では、改植が可能な園地への誘導、並びに急傾斜地園地においては耕作条件の整備を図る。	農業用水が確保できる園地の貸借と、用水確保に向けた条件整備。	農地の出し手に対して、野菜作を希望する者への貸し出しの誘導。

年間スケジュール

